

事業所名		放課後等デイサービスすまいる塾				支援プログラム		作成日		2025	年	4	月	1	日
法人（事業所）理念		将来を見通した自立の促進が図れるよう支援・指導する。													
支援方針		さまざまな経験や体験をすることで自信を身につけ、自分で考えて行動できるように自立に向けた支援をする。													
営業時間		平日 休校日	10 9時	0 0分から	18 18時	0 0分まで	送迎実施の有無		あり						
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・検温と手洗いをし、一人ひとりの健康状態を把握する。 ・時間や空間を子供に分かりやすいように環境を整える。 ・使ったものは片付け、使った食器類は自分で洗うといった整理整頓や食器洗いなどの基本的な生活スキルを身につけられるよう支援する。 ・クッキング活動を取り入れ、調理道具の使い方や食材を切る、皮を剥くなどの調理に関する基本動作の習得することで自立の促進を図る。													
	運動・感覚	・鉄棒、トランポリン、ボールなどの道具を使った活動を通して全身運動を行うことで筋力の維持・強化を図るとともに、バランス感覚や体の動かし方などさまざまな感覚を養う。 ・廃材を使った工作や折り紙、裁縫などを通して微細運動の促しや豊かな発想力を育てる。 ・音楽やリズムを使って五感を刺激しながらリズム感覚を養い、楽しく活動できるよう支援する。 ・施設内の畑で育てている野菜に水やり、成長の観察、収穫、収穫した野菜を食べることで、見る触る食育といった感覚を刺激し、食への関心を育む。													
	認知・行動	・視覚的補助により一日のスケジュールが把握できるよう「見える化」を行い、見通しを持って次の行動ができる環境を作る。 ・時間の区切りごとにタイマーを鳴らし、行動のタイミングを知らせる。また5分前には片付けを促し、スケジュールの時間通りに行動できるよう支援する。 ・活動前にルールや流れを確認することで活動に対する理解を促し、活動がスムーズに行えるようにする。 ・自分の得意なことや苦手なことを知り、自己理解していくことを促す。また、得意なことは伸ばしていき、苦手なことはその中で自分でできることを見つけていく。 ・日直という仕事につくことで、みんなのお手本になるように行動する、前に出て帰りの会の司会をするなどの責任感を持たせる機会を作る。													
	言語 コミュニケーション	・自分のしたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求めるなど、自分の思いを伝えたり、人を頼ったりすることでコミュニケーションが向上できるよう支援する。 ・活動や遊びの中で、「入れて」「貸して」と相手に同意を求める、「いいよ」「今使ってるからあとでね」と受け入れるや断るといった友達とのやりとりがスムーズにできるよう支援する。 ・帰りの会で活動の振り返りを行い、発表する時間を設けることで自分の気持ちや考えを他者に伝える機会を作る。 ・机に向かって静かに学習する時間を設けることで切り替える力や集中力の向上を図りながら、障がいの特性に応じた学習支援を行う。													
	人間関係 社会性	・集団遊びを通して他者との関わりが持てる環境を作り、社会性の発達を支援する。 ・活動や集団遊びの時間を通して、順番に行う、ルールを守る、友達と協力する、失敗や負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身につける機会を作る。 ・公共交通機関（バス・電車・船）や公共施設（スーパー・公園など）を利用して、社会的マナーを身につけられるよう支援する。 ・買い物体験を通して、予算内に収めるための商品の選択、レジでの支払いなどを体験することで考える力や行動する力を育て、1人で買い物ができるよう支援する。													
家族支援		・保護者面談（半年に1回） ・家族からの相談や悩みに対しての適切な助言等を行い、ご家庭でも前向きに療育が行われるようサポートする。 ・送迎時や面談、通信機器等で情報共有することでより良い支援に活かす。					移行支援		・具体的な移行先との調整、相談援助、連携 ・学校や学童等との情報共有						
地域支援・地域連携		・相談支援事業所との連携 ・併用利用先との情報共有 ・児童センターや行事への参加により地域の人とつながる機会を作る。					職員の質の向上		・法定研修や施設内研修の実施 ・ケース検討会						
主な行事等		・季節に合わせた活動 ・昼食クッキングやおやつクッキング ・課外活動：公園、外食やお買い物体験、動物のえさやりなど													